

フォローアップセミナーに参加してみても

削って、詰めて、抜いての繰り返し。治療優先の毎日でした。

それを当たり前のように20年間。理想的な治療とは何か？

きれいな補綴物を入れる、来院回数をへらして治療を早く終える、患者の望むことを優先するなど、今までの処置がいかに患者にとって不利益だったか。

熊谷先生のセミナーに参加して、MS菌が多いのにカリエスフリー何故か、考えもしませんでした。

リスクは本当に見た目じゃ分からないこと。将来の予測のために日々データの蓄積や予防に力を注ぐ、治療後の継続を管理する事が最も大事なことだと認識させられました。

予防（再発させない治療）がベースにあって、はじめてその他のものが成り立つこと。エビデンスに基づいて患者に熱意をもって情報を伝えていくこと。真の医療とは何かを初心にかえる気持で気付かされました。

しかしながら、いざ実践するとなると、頭で理解はしても、なかなかこれが患者にうまく伝わらず、いつしか、サリバを受けていただくことが大事になっていて、MTMの型に患者を無理やりはめ込み、

患者の訴え（主訴）は後回し。いきなり商品説明されても患者は引いてしまい、お互いに不満がつのも、一時、MTMのコンサルテーションが苦痛でさえありました。

佐々木歯科医院に来院させていただいて、直にスタッフの皆さんと触れ合い、仕事に対する情熱、誇り、患者への思いやりに溢れる姿を目の当たりにして、患者の信頼を得ることとやる気あるスタッフこそが医院の財産なのだと気付かされました。

他院のために、休日返上してまで、親身になってフォローしていただき大変感謝しています。

自分の歯で一生噛めることが、どんなに快適で豊かな人生を送れるか、患者の為に、やる気あるスタッフと一丸になって、真のメンテナンスをする環境が整っているのです、いつでも来てください。

と胸を張っていえる医院になります。

歯科医師 篠山孝史